

あらゆる機械の製造を可能にして大田ブランドを発信

「信用」「信義」「信憑」を 大切にしている会社

三信精機

三信精機（大田区矢口、渡辺慶征社長、03・3758・5311）は、化粧品製造装置、精密部品加工、医療用関連設備、筆記具組立機器の製造を主業としており、中でもメーカーアップ用化粧品製造装置は業界シェア50%を超える同社の代表製品である。

メーカーアップ用化粧品とは、口紅やファンデーションなどの「色が付く」化粧品のことで、メーカー独自の発色が求められる。そのため、製造装置自体に微細な温度設定機能や色ムラを防ぐ技術が必要とされ、設計から製造、組立、アフターフォローまですべて社内で行う同社の確かな技術力が顧客より高い信頼を得ている。

同社では、「社員こそが最大の財産」をモットーに、良い製品は、決して一人の力でつくれるものではなく、様々な工程に関わったすべての人たちの結晶として生まれるという考えのもと、若手から

ベテランまでのチームワークを大切にした「モノづくり」を行っている。

オリジナル製品の開発にも積極的に取組んでおり、その代表作が「つめ小町」（特許出願中）である。この製品は爪の手入れ用品にも関わらず、刃が無いのが特徴である。刻まれた溝に沿って指をスライドするだけで、爪を短く研ぐことができ、子供からお年寄りまで安心して使うことができる。一見すると、一枚の小さなステンレスの板に見えるが、精密な加工技術が結集されており、「大田区の技術の結晶」と言っても過言ではない。ネームや画像の刻印も可能なことから、企業や自治体がノベルティグッズとして使用するケースも多い。

「当社は、お客様からの『信用』『信義』『信憑』を大切にしており、それが社名の由来でもある。お客様だけでなく、新たな従業員が自然と集まってくる魅力ある会社にしていきたい」と渡辺社長は語る。

詳しくはホームページにて

<http://www.sanshinseiki.co.jp/>



オリジナル製品「つめ小町」



渡辺慶征社長